

科目	福祉カウンセリング(福)(臨)		単位数	2
担当教員	袴田 俊一			
履修対象	社会福祉学科3年秋学期			
目的	ソーシャルワークにおける面接を中心に、面接を効果的に進めるための心理学的援助手段に関するテーマを取り上げます。			
達成目標	「技能・表現」 (1)本講義で得た面接技法をソーシャルワーク援助・支援活動に活かすことが出来る。 「知識・理解」 (1)ソーシャルワークにおける面接技法について説明できる。			
授業計画				
1	オリエンテーション：福祉カウンセリングとは？			
2	一般性(共通性)と個別性(独自性) 客観的事実と主観的現実			
3	アセスメントとインターベンション			
4	カウンセリングとケースワーク面接			
5	カウンセリングと心理療法(サイコセラピー)			
6	自己覚知とパーソナリティ			
7	子ども領域における福祉カウンセリング 虐待の問題を中心に			
8	危機介入：生活場面面接と5W1Hの活用			
9	高齢者領域における福祉カウンセリング 回想法やリアリティ・オリエンテーションを中心に			
10	障害受容 ADLからQOLへ			
11	身体障害者領域における福祉カウンセリング ピアカウンセリングを中心に			
12	総合病院における福祉カウンセリング 医療とソーシャルワーク			
13	精神障害者領域における福祉カウンセリング SSTを中心に			
14	多職種間の連携 コンサルテーション・リエゾン			
15	まとめ			
授業形態	講義形式を中心とする。			
教科書				
教科書名	著者名	出版社	金額	
福祉カウンセリング	杉本敏夫監修・袴田俊一編	久美出版	2,400円+税	
参考書	・久保絃章(ひろあき)『ソーシャルワーク利用者へのまなざし』相川書房 ・杉本敏夫(訳)『ソーシャルワークとは何か』晃洋書房 ・バースティック『ケースワークの原則』誠信書房 ・土居健郎『方法としての面接-臨床家のために-』医学書院 ・土居健郎『甘えの構造』弘文堂			
評価方法	平常評価(課題への取り組み姿勢：50点 平常筆記試験：50点)			
留意点	毎回の課題に対して積極的に取り組んでいただきたい。			
準備学習	予め、授業計画を参考に疑問点や興味を持った点、さらには関連事項や関連分野などについて、自分なりにどんどん調べておくこと。			
備考				No. SW621010